

西暦 2021年 9月 28日

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究に対して当センターで保有する既存試料・情報を提供しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

## 記

提供元責任者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 松尾 規佐 ・ 看護部
研究課題名	第5回日本褥瘡学会実態調査
研究代表者 氏名・所属機関	日本褥瘡学会 実態調査委員長 紺家千津子
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2021年10月1日から10月31日の間に褥瘡の治療(検査)を受けた方
研究期間	2020年7月1日～2023年3月31日
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	日本褥瘡学会の実態調査委員会では、2006年より過去4回にわたり全国の病院、介護施設、在宅(訪問看護ステーション)を対象に褥瘡の実態を調査し、療養別の褥瘡有病率や有病者の特徴などを日本褥瘡学会誌等で報告してきました。今回は、その後の褥瘡の実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的なデータを得ることを目的に、5回目の調査を行います。
提供する試料・情報の項目や種類	この研究のために、患者さまに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた診療録(カルテ)を本研究のために使用させていただきます。 <収集する情報> 疾患名、年齢、性別、健康障害のレベル、日常生活自立度、要介護度、褥瘡部位、褥瘡が発生した場所、褥瘡の病変、使用している体圧分散寝具、体位変換時間、栄養状態、局所治療計画、褥瘡対策危険因子、褥瘡ハイリスクのカテゴリー、発生要因、転帰
外部への試料・情報の提供	対象となる患者さまの診療録(カルテ)から上記の情報を調査し、日本褥瘡学会へ提供します。各患者さまを結び付ける情報の提供はいたしません。 日本褥瘡学会のホームページに掲載された日本褥瘡学会実態調査システムを利用したWeb調査への入力にてデータの提供を行います。

<p>研究組織 (提供する試料・情報を利用する者の範囲)</p>	<p>日本褥瘡学会 実態調査委員会</p>
<p>研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法</p>	<p>本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。</p>
<p>個人情報の開示に係る手続き</p>	<p>本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱い及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。</p>
<p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先</p>	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター          看護部 松尾 規佐          大阪府和泉市室堂町 840          電話 0725-56-1220 (代表)</p>